

(別紙1) 独立行政法人国立美術館キュレーター研修 受入館概要

(1) 東京国立近代美術館 本館

コレクション概要		19世紀末から今日までの日本と海外の美術作品を収集しています。現在、日本画、洋画、版画、水彩・素描、彫刻、写真、映像などの各分野にわたって、約13,600点を収集しています。	
展示概要		重要文化財15点を含む、日本有数の近現代美術のコレクションを誇る所蔵作品展「MOMATコレクション」は、関連する海外の作品を交えながら、19世紀末から今日までの日本の美術の流れを概観できるように展示しています。年数回の大規模な展示替を行い、各会期約200点、年間約800点をご紹介します。特集展示や小企画にも力を入れ、常に多様な角度から所蔵作品に光をあてるよう努めています。特別展等は、特定のテーマに基づいて国内外の美術作品を展示するもので、年間3～4回開催しています。	
		区分	事項
研修分野	A	学芸全般	以下のB～E全て
	B	学芸(コレクション)	①近現代美術(日本画・洋画・彫刻他)
			②写真
	C	学芸(企画展)	
	D	美術館教育	
E	図書資料		
		概要	
			作品収集、所蔵作品管理、展示、貸与、調査・研究。
			展示会の準備、作品調査・研究、広報、会場設営、展示会運営業務。
			ボランティア育成、対話型鑑賞、ビジネスパーソン対象の鑑賞プログラム、教育普及に関すること。
			資料の収集、資料・目録のデータ管理、文献調査。

令和7年度 展示会開催予定

\* 展示会予定は令和6年8月末現在のものです。今後、変更になる場合がございますので、ご了承ください。

【企画展】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「ヒルマ・アフ・クリント」(仮称)	■											
昭和の美術を扱うテーマ展				■								
戦後前衛美術とジェンダーに関するテーマ展									■			
近代日本画の個展												■

  

【所蔵作品展】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
所蔵作品展「MOMATコレクション」	年に数回展示替えあり											

(別紙1) 独立行政法人国立美術館キュレーター研修 受入館概要

(2) 国立工芸館

コレクション概要		明治以降、今日までの日本と海外の工芸及びデザイン作品を収集しています。特に多様な展開を見せた戦後の作品に重点を置いています。陶磁、ガラス、漆工、木工、竹工、染織、人形、金工、工業デザイン、グラフィック・デザインなどの各分野にわたって4,000点以上を収蔵しています。		
展示概要		所蔵作品展では、我が国の近・現代工芸の秀作を中心に年に数回、4,000点以上の所蔵作品の中から100点前後の作品を選び、歴史や特定のテーマに沿った展示を行います。特別展及び共催展では、特定のテーマに基づいて国内外の工芸およびデザイン作品を展示します。		
		区分	事項	概要
研修分野	A	学芸全般	以下のB～E全て	
	B	学芸(コレクション)	近現代工芸およびデザイン	所蔵作品管理、展示、貸出、作品調査・研究。
	C	学芸(企画展)		展覧会の準備、作品調査・研究、広報、会場設営、展覧会運営業務。
	D	美術館教育		教育プログラム、ワークショップ、ギャラリートーク、ボランティア活動。
	E	図書資料		資料の収集、資料・目録のデータ管理、文献調査。

令和7年度 展覧会開催予定

\* 展覧会予定は令和6年8月末現在のものです。今後、変更になる場合がございますので、ご了承ください。

【企画展】		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日本の地方の伝統織物に焦点を当てた展覧会	7月中旬～8月下旬(予定)				■								
海外の陶芸作家を取り上げた展覧会	9月上旬～11月下旬(予定)						■	■	■				

【所蔵作品展】		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
所蔵作品展	3月14日～6月22日、12月9日～令和8年3月1日	■	■	■						■	■	■	■

**(3) 京都国立近代美術館**

コレクション概要		国内外の近・現代美術作品の収集・保管を行っています。絵画・彫刻だけではなく、多彩な工芸作品から写真にいたる幅広いコレクションが特徴です。特に京都の近代日本画や洋画には優品が揃い、戦後世界をリードした陶芸・染織・ガラス作品や写真史上の代表作も数多く所蔵しています。また、河井寛次郎や長谷川潔そして「世紀末ウィーンのグラフィック」など作家や時代に特化した包括的なコレクションも充実しています。		
展示概要		美術館の活動方針に基づき、年間約5回の企画展を開催しています。また、上記の幅広い所蔵作品と寄託作品を用いて、同じく年間約5回のコレクション展を開催し、企画展との連携も視野にいれつつ、その都度異なるテーマを立て、すべての作品を入れ替えています。		
		区分	事項	概要
研修分野	A	学芸全般	以下のB～E全て	
	B	学芸(コレクション)	①工芸・デザイン	所蔵作品管理、展示、貸出、作品調査・研究。
			②近現代美術 (日本画・洋画・版画)	
			③写真	
	C	学芸(企画展)	展覧会の準備、作品調査・研究、広報、会場設営、展覧会運営業務。	
D	学習支援・普及	各種学習支援・普及プログラム。		
E	図書資料・情報関連	資料の収集、資料・目録のデータ管理、文献調査。		

**令和7年度 展覧会開催予定**

\* 展覧会予定は令和6年8月末現在のものです。今後、変更になる場合がございますので、ご了承ください。

【企画展】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「〈若きポーランド〉色彩と魂の詩 1890-1918」	■											
「きもののヒミツ 友禅のうまれるところ」				■								
「没後50年 堂本印象」(仮称)							■					
未定(現代美術関連展)										■		

  

【所蔵作品展】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コレクション展	途中展示替えあり											





